

# 香川県の地震

令和5年（2023年）7月

## 香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	2

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会 （注）

評価検討会調査結果 令和5年（2023年）8月7日	・・・	3
---------------------------	-----	---

（注）直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。

## 地震一口メモ

津波から命を守るために	・・・	4～5
-------------	-----	-----

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

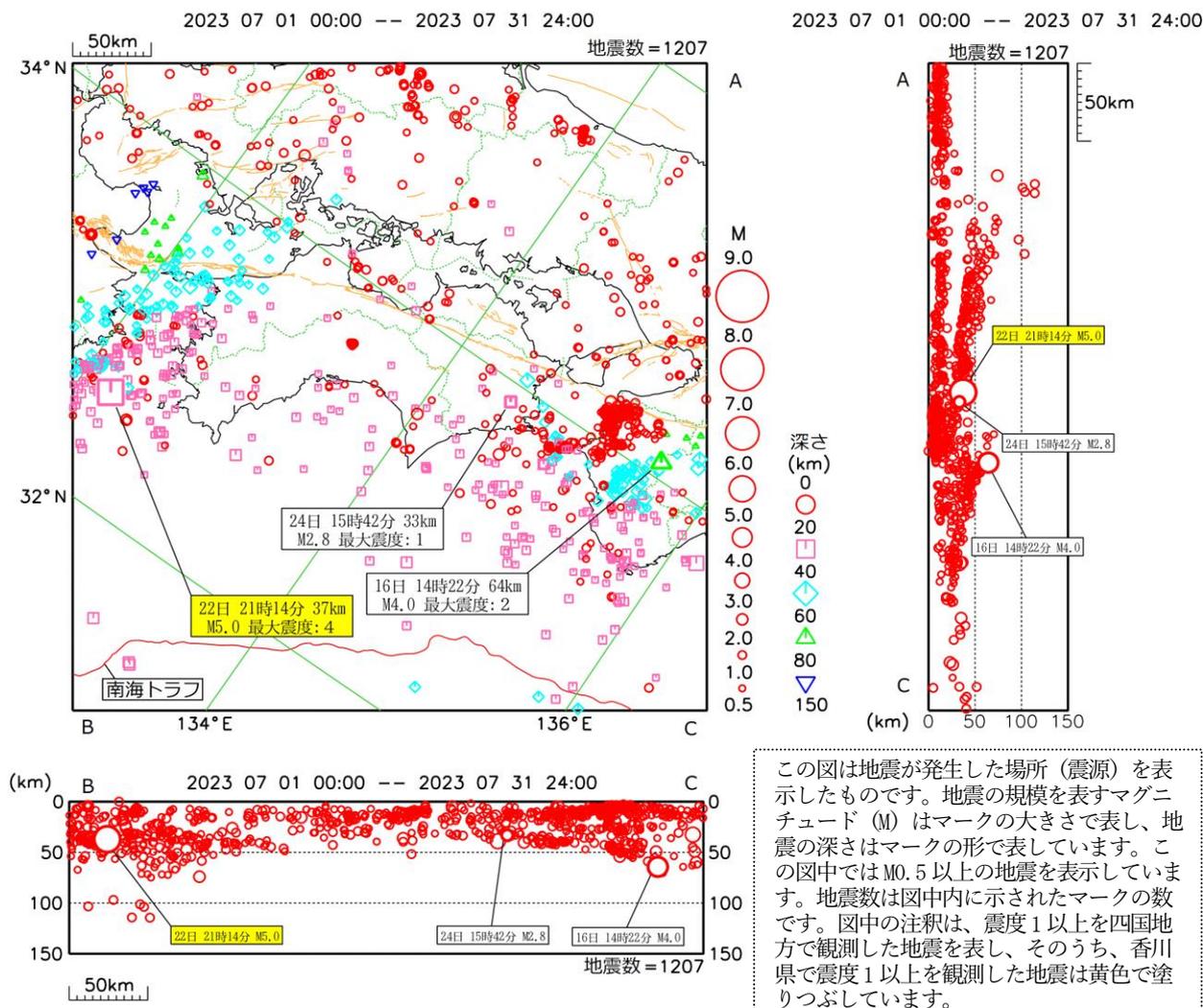
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2023年7月

## ◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

## ◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は1回）。

22日21時14分日向灘の地震（深さ37km、M5.0）により、観音寺市・多度津町で震度1を観測しました。この地震では、高知県宿毛市、大分県佐伯市で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の3回でした。

16日14時22分奈良県の地震（深さ64km、M4.0）により、奈良県御所市・宇陀市、和歌山県御坊市・日高川町で震度2を観測したほか、東海・近畿・四国地方で震度1を観測しました。

24日15時42分徳島県南部の地震（深さ33km、M2.8）により、徳島県那賀町で震度1を観測しました。

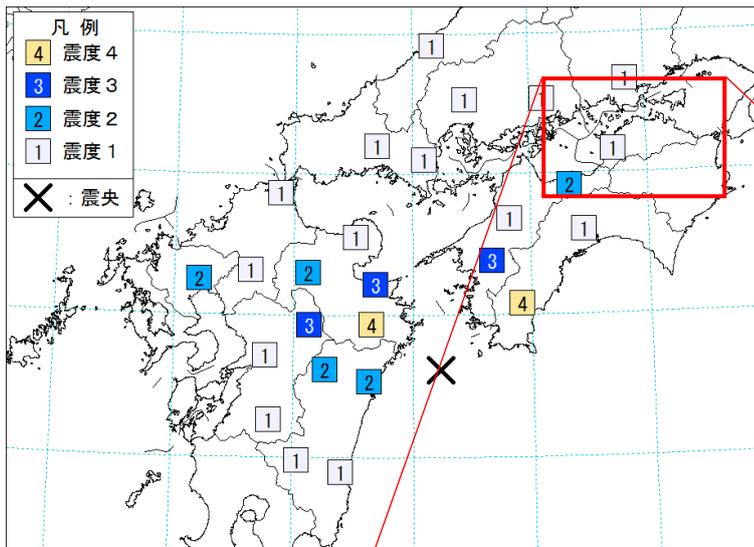
26日14時59分日向灘の地震（深さ42km、M4.4；震央分布図地図範囲外）により、宮崎県西都市・高鍋町・川南町・美郷町・宮崎市で震度3を観測したほか、四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

## ◎香川県の地震表（震度 1 以上）

震源時 (年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023年07月22日21時14分	日向灘	32° 36.9' N	132° 13.6' E	37km	M5.0
香川県 震度 1 : 観音寺市坂本町, 多度津町家中					

## ◎震度分布図

2023年07月22日21時14分 日向灘の地震



地域震度分布図



観測点震度分布図

# 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

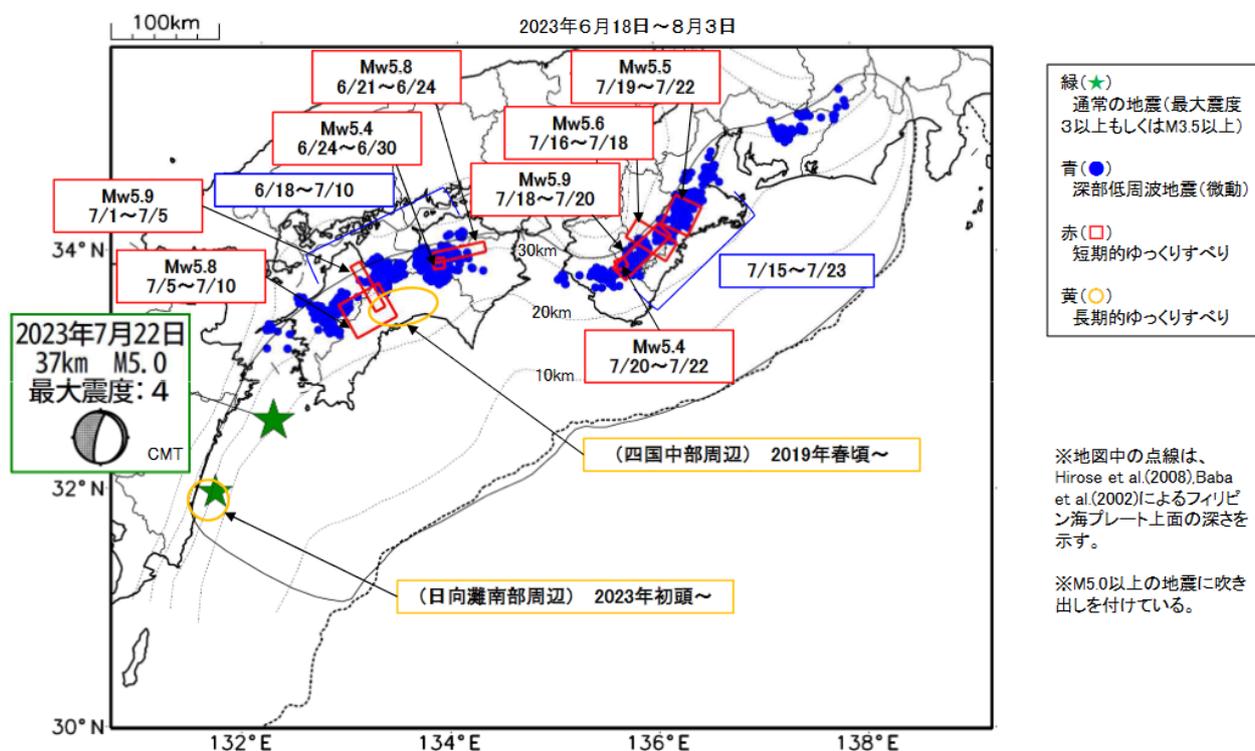
令和5年(2023年)8月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

## 【調査結果(概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

## 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
深部低周波地震(微動).....(産源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。  
短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島北部から紀伊半島中部、四国東部から四国中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。  
長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2308/07b/nt20230807.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

# 【地震一口メモ】

## 津波から命を守るために

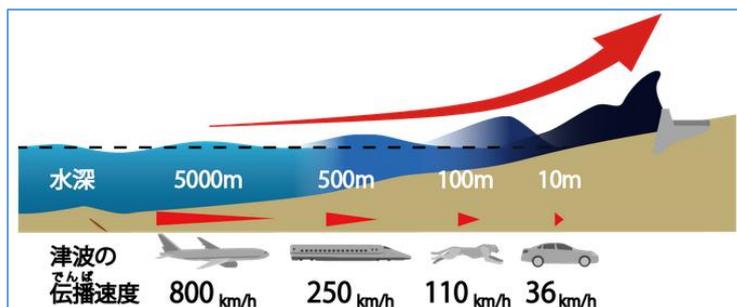
日本は世界有数の地震大国で、これまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。最近では、平成23年の東日本大震災において、東北地方から関東地方北部の太平洋沿岸を中心に巨大な津波が襲い、甚大な被害を受けました。津波は、通常の波（風浪）とは異なり、数分から数十分大量の海水が押し寄せ、数分から数十分引くという押し引きを繰り返します。津波が陸上を襲った場合、人や建物を押し流し、風景を一変させる程の被害をもたらすことがあります。

気象庁は、このような津波から一人でも多くの方の命を守るため、災害を防止・軽減するために、津波発生から約3分までを目標に大津波警報、津波警報、津波注意報等を発表します。津波から命を守るためには、津波の特徴や津波警報等の意味を理解し、ただちに避難（安全確保）することが何よりも重要です。

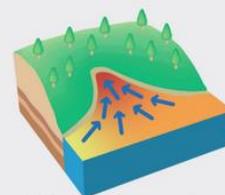
### 津波の特徴を知る

津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

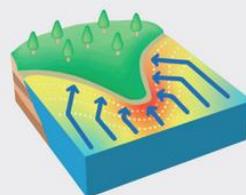
- ・沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、急激に高くなります。
- ・津波が移動する速度は非常に速く、津波の存在を確認してから逃げるのでは間に合いません。
- ・一度来たら終わりではなく何度も繰り返し襲ってきます。後から来る津波の方が高くなることもあります。
- ・津波の力は非常に強く、高さが50cm程度の津波であっても大人でも立ってられず、流されてしまいます。
- ・津波は、海面が下がる「引き」から始まるとは限らず、いきなり海面が上がる「押し」から始まることもあります。“潮が引いたら逃げればよい”は大きな間違い、大変危険です。
- ・沿岸の地形の影響などにより、湾の奥などでは局所的に高くなります。右図「地形による津波の増幅の例」をご覧ください。
- ・潮位が変化しはじめてから最も高い津波が観測されるまで数時間以上かかることもあります。



### 地形による津波の増幅の例



V字型の湾では湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。



岬の先端では、津波が海岸線に対して平行になるとしてエネルギーが集中し、波高が高くなります。

### 津波に備える・津波から命を守る行動の具体例

津波から命を守るため、日頃から色々な場面を考えて備えておきましょう。

#### <日頃からの備えの例>

- ・危険な場所を確認  
自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川を遡って津波が襲ってくることもあります。
- ・津波避難場所を確認  
津波避難場所（長時間滞在することとなる「避難所」ではありません）や津波避難ビルがどこにあるか、そこまでの避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。1か所だけでなく、さらに高いところにある避難場所についても調べておきましょう。
- ・訓練に参加しよう  
実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。



津波注意

津波が来襲する危険のある地域を示します



津波避難ビル・津波避難場所

津波に対し安全な避難場所を示します

### <安全を確保するための行動>

- ・海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難  
津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れや、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。
- ・解除まで気を付けて  
津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。
- ・注意報でも海中は危険  
津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。
- ・正しい情報を入手  
テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。



### 津波防災啓発ビデオの紹介

#### 津波防災啓発ビデオ「津波に備える」(2023年3月公開 / 気象庁)

東日本大震災を踏まえ、津波から命を守るために備えておきたい津波の知識や避難のポイントを、実際の映像やCG、インタビュー等により解説した動画です。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami\\_dvd\\_sonaeru/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd_sonaeru/index.html)



#### 津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(2012年3月制作 / 気象庁)

東日本大震災を踏まえて、津波から自ら判断して避難することの大切さをアニメーションを使用し子供にも分かりやすく解説したビデオです。

本編映像の他、津波の実験や避難訓練の様子等の資料映像も収録しています。



アニメ、インタビュー (避難のポイントの紹介)



クイズ「津波を知ろう」

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami\\_dvd/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html)

### 香川県における津波被害

「香川県地震・津波被害想定調査報告書」によると最大クラスの南海トラフ地震が発生すると、県内では沿岸域に3m～4mの津波が来襲します。

香川県では、南海トラフなど海溝軸で発生する地震に限らず、大阪湾や瀬戸内海中部、播磨灘などで発生するプレート内の地震でも津波による被害が発生する可能性があります。

過去に記録が残っている例としては1707年の宝永地震があります。宝永地震では高松で、高さ2mの津波により相当の被害があったとの記録が残されています(香川県地域防災計画 地震対策編より)。